

CASBEE_Sapporo2014v1.0
(仮称)GGCビル

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	W	G	S							
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音				目標とする騒音レベル	3.5	0.15	3.8	1.00	3.5	
1.2 遮音					3.0	0.40	5.0	0.40		
1 開口部遮音性能				一般サッシ(複層ガラス)、2重サッシ(外部アルミ単板、内部樹脂複層)を採用	3.8	0.40	3.2	0.40		
2 界壁遮音性能					5.0	0.41	5.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.59	3.0	0.30		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	1.0	0.20		
1.3 吸音				床はタイルカーペット、天井は岩綿吸音板を採用	3.0	-	3.0	0.20		
					4.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境										
2.1 室温制御					2.8	0.35	3.0	1.00	2.8	
1 室温					3.4	0.50	3.8	0.50		
2 外皮性能	W			複層ガラス、ウレタン吹付t40を採用	3.0	0.38	3.0	0.57		
3 ソーン別制御性					5.0	0.25	5.0	0.43		
2.2 湿度制御					3.0	0.37	-	-		
2.3 空調方式					1.0	0.20	1.0	0.20		
					3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境										
3.1 昼光利用					3.1	0.25	3.3	1.00	3.1	
1 昼光率				病室の窓は開口面積を大きくした	1.8	0.30	4.2	0.30		
2 方位別開口					1.0	0.59	5.0	0.60		
3 昼光利用設備					-	-	-	-		
3.2 グレア対策	W				3.0	0.41	3.0	0.40		
1 昼光制御	W				3.0	0.30	3.0	0.30		
					3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				共用部分はリモコンスイッチを設置し照明制御ができる	5.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気環境										
4.1 発生源対策					4.1	0.25	4.1	1.00	4.1	
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆を全面的に採用	5.0	0.50	5.0	0.63		
2 気体汚染対策					5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気					2.0	0.30	2.6	0.38		
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				病室の窓は開口面積を大きくした	3.0	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮					1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-		
2 喫煙の制御				ビル内の禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ					3.3	0.40	4.0	1.00	3.3	
1 広さ・収納性				11.78㎡/1床室(有効面積)、8.05㎡/4床室(1人当り有効面積)	3.0	0.40	5.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観				天井高さ 2.5m	-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-		
3 内装計画					3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				床 長尺シート、壁 化粧ケイカル板、外壁 タイル張り・吹付タイルを採用	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				各廃棄物保管、各階毎に掃除用の設置	4.0	0.50	-	-		
3 維持管理業務					-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震					2.9	0.30	-	-	2.9	
1 耐震性					3.0	0.50	-	-		
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数					3.2	0.30	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W				2.0	0.20	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	W				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	W			給水:水道用ポリエチレン管、塩ビライン管、鋼管、汚水雑排水:硬質塩ビ管	3.0	0.10	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	W				5.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備					2.6	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-		
3 電気設備					2.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-		
2.0					2.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	3.2	1.00	3.4	
1 階高のゆとり				階高4.1m(共用部分)、階高3.65m(病室部分)	4.6	0.30	3.4	0.50		
2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率2.0(共用部分)、壁長さ比率2.7(病室部分)	5.0	0.60	3.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり					4.0	0.40	4.0	0.40		
3.3 設備の更新性					3.0	0.30	3.0	0.50		
1 空調配管の更新性					3.0	0.40	-	-		
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.20	-	-		
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.10	-	-		
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-		

CASBEE_Sapporo2014v1.0
(仮称)GGCビル

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 省処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
配慮項目		W	G	S						
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			G			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			G			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		W			332MJ/(㎡・年)/474MJ/(㎡・年)=0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		W				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		W			BEI=0.68	5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)		W				-	-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					水栓:泡沫、自動、大便器:節水型器具、小便器:センサー一体型の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減		W			鉄骨梁にSS400材を採用	4.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			再生加熱アスファルト混合物 アスファルト舗装	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W				3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					F☆☆☆☆の採用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		W				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		W			HFOを採用(ODP=0、GWP=1)	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		W				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮					CO2排出率 72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮						2.2	0.33	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止		W				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		W	G	S		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		W				-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						-	-	-	-	
3 交通負荷抑制						2.0	0.50	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		W		S		2.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	